

大雪に備える

ホームガス課 森本 英幸



大雪は私たちの生活に大きな影響をもたらします。普段、大雪に見舞われることの少ない伊賀地方ですが、降雪による影響はかなり大きくなります。情報をこまめに確認し、事前の準備をしっかりとしておきましょう。

① 大雪に関する情報収集

大雪に関する気象情報は、予想される現象の数日前から発表されます。予想降雪量、降雪のピーク（注意を要する時間帯）などは随時最新の情報を確認し、事前対策の目安にしましょう。

② スタッドレスタイヤの準備

スタッドレスタイヤの交換時期は気温で見ることができます。路面の凍結は、おおよそ気温が7度以下に低下する時に起こると言われているため、雪が降っていない状況でも、気温によっては夏タイヤから冬タイヤであるスタッドレスタイヤに履き替えたほうが良いです。

また積雪予報や真冬の寒い時期にスタッドレスタイヤを履き替えようとする、タイヤの在庫がない場合や整備工場・ディーラーでも予約が取れない場合があるため、「冬になってから」ではなく「冬が始まる前に」スタッドレスタイヤを準備しておくことが重要です。

③ 事前準備

大雪の可能性がある場合、融雪剤の散布や除雪用具（スコップなど）の確認をしましょう。直前に準備しようとすると、手に入らないこともあります。

電気やガスの暖房が使えなくなる可能性があります。防寒グッズ（カイロや湯たんぽ、灯油ストーブなど）を用意しておきましょう。

停電時にも情報が得られるように、電池式のラジオやモバイルバッテリーなどがあると安心です。

④ 水道管の凍結対策

翌日の最低気温が「マイナス4度」以下と天気予報で発表されたら、凍結対策開始。屋外に露出している水道管に、タオルやプチプチなどを巻き付けて保温する。この時、隙間があると効果がないので、タオルの上からビニールテープなどを巻き付けてしっかり固定してください。

夜寝るときには、台所や風呂場などの蛇口を開けっぱなしにして、少しだけ水を出し続ける。水道管の中を水が動いている場合は、なかなか凍りつくことはありません。大量に出し続ける必要はなく、チョロチョロでOKです。500mlのペットボトルを1分かけて満タンにする程度の水量で十分ですが、この水量だと一晩で風呂桶1杯分くらいになります。

⑤ 水道管が凍結してしまった場合の対処法

対策を講じたにもかかわらず水道管が凍結してしまったら、凍結している箇所にドライヤーなどで温風を当て続けることで、解冻を促進することができます。凍結した箇所にタオルや布を巻いて、その上からゆっくりとぬるま湯をかける。熱湯をかけると温度変化で破裂することがあるので注意してください。

私が思う2023年の出来事と2024年の気になる出来事

取締役営業本部長 水之浦 英樹

2023年の社会情勢で思う事

もう間もなく2024年が参ります。アツと言う間に1年が過ぎたように思っております。私が思う2023年の出来事は、やはり新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への変更と思います。2023年5月8日から変更となり急激に変わったのはマスクの着用率でしたね。今となればマスクされている方がだいぶ減った様に思います。2類相当から5類相当になり危機感もだいぶ無くなったのではないのでしょうか。数年マスクをしていたせいで人間の免疫力がおちてインフルエンザが季節外れに流行したのは想定外でした。

それと10月ハマスが対イスラエルを大規模攻撃し戦争が始まりました。毎日、テレビの映像で悲惨な状況を見ると心が痛みます。この時代に戦争なんてと思ってしまうますが、一日でも早く終わる事を心より祈っております。

2023年社内の出来事で思う事

社内的には2023年4月に地域に少しでも貢献できればとモバイル修理.jpを開始し、おかげ様で毎日お客様からのご依頼やお問い合わせを頂いております。iPhoneに限ってしまいますが何かご相談がある場合はお問い合わせ下さい。

6月には一般消費者様に対し請求書のWEB化を行いました。三重県SDGsの取組みの一つでありましたので実現できて良かったです。大変ご不便お掛けしましたが、弊社ホームページや当社のLINEアプリで確認する事が出来ますので閲覧してみてください。

10月にはホームページを斬新しました。前よりもわかりやすく閲覧できるのではないかと私自身そう思っております。11月3日、4日、5日には上野ガスのガス展内で4年ぶりにアポロ興産のブースを出展させて頂きました。ブース出展は4年ぶりにもかかわらずたくさんのご来場いただき感謝申し上げます。社員一同、大変喜んでおります。

2024年の気になる事

さて、2024年になり個人的に気になるのが、自動車運転者の労働時間等の改善のための基準の一部を改正する件で、その背景は働き方改革関連法により、多くの労働者の時間外労働に上限時間が設けられましたが、自動車運転者の時間外労働については適用の猶予があり、2024年4月1日から限度時間及び臨時的な特別な事情がある場合でも、年960時間の上限時間が適用されます。

また、過労死等防止の観点から、改善基準告示の総拘束時間等の改善を求められていたため、今回改正が実施されます。その概要はトラック・大型タンクローリー車などの自動車運転業務について、時間外労働や拘束時間、連続運転時間の縮小や休息期間の延長が行われます。弊社としまして一部は自動車に関わる運賃の見直しを行う必要があります。それはドライバーの待遇改善や、新たにドライバーの雇用を行うなど各運送業者の負担が掛かってくるからです。

それと2024年上期の予定として現行紙幣、1万円札、5千円札、千円札のデザインが刷新されます。2004年以来、20年ぶりだそうです。新紙幣の表の図柄は1万円札が渋沢栄一、5千円札が津田梅子、千円札が北里柴三郎になります。

渋沢栄一は第一国立銀行（現在のみずほ銀行）など数多くの企業を設立し、日本の資本主義の父とされた人物です。

津田梅子は津田塾大学の創始者で、特に女子の英語教育に注力した人物です。

北里柴三郎は日本における近代医学の父として知られ、感染症予防や細菌学の発展に大きく貢献した。ペスト菌を発見した功績もある人物です。

新紙幣には世界初となる偽造防止技術を採用し、各紙幣には最新のホログラム技術を使い、紙幣を傾けても3Dの肖像が同じように見える偽造防止対策を導入するようです。

新しいお札は楽しみです。紙幣が変われば各企業の対応も大変になるだろうと予想できますね。例えば自動販売機や発券機など。益々、キャッシュレス化が進みそうな予感です。

2024年も引き続き、アポロ興産株式会社を宜しくお願い申し上げます。

